

ふるさと歴史散歩

〔第77回〕 道隆寺②〇

先月号の概要は、菅原守編『芸州府中荘誌』の道隆寺に伝わる縁起口伝書で、伊勢という名の心優しい乙女が村にいた。その乙女は薬王寺本尊を信仰する事により、安芸国隋一の美しい乙女となり、宮中に入り、やがて時の実力者の摂政関白藤原道隆卿の御殿に入る事になった。続いて『芸州府中荘誌』から残りの部分を紹介する。

を建て参らせたと、道隆卿は「幸に彼の地我が領地たり、其願いと易し」と速に人を派し、今の地を卜して、八丁四方を免し、三年の日子を費して、七堂伽藍、堂塔十二ヶ末寺を建立し、寺領千余石を寄付し給い、府白山無量寿院薬王寺を改めて、桑多山安芸院道隆寺とし、安芸一国の総祈願所と定められ、僧侶も夥多置かれて、寺勢隆々時に正暦三年壬辰五月の事たり、伊勢の喜び言うもせんなしとあり、此伊勢女こそ、小倉百

人一首第十九番、「なにはがた（難波渦）みじかきあし（芹）のふしのまも 遇はで此世を過してよとや」と詠める伊勢の事なりと言う。（原文一部修正）

（次号に続く）

府中町文化財

保護審議会会長

横田 禎昭

鄙乙女の御殿入りはいとどあやぶまれたれど、其の寵愛は日々に加り、榮華遊樂を意の儘に出来得る身として、仕うる事益々手厚きにより、道隆卿の寵愛全く一身に集りけり。或日、道隆卿は伊勢女に向い、「汝、何を以て願とするや」と問う、伊勢答えて曰く、「わらわに一の願あり、吾生国に薬師如来の尊像有りて、其の靈験を蒙る事年久し、然るに其堂宇見る蔭もなく破壊して、雨露を凌ぎ給う事を得ざる有様なり、願くは之が堂宇



道隆寺 本堂（現在）



前立薬師如来像



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分までにごみステーションに出してください。

4/29 (木/祝)	北部	普通ごみ（月・木曜日地区）
	南部	収集しません
5/3 (月/祝)	北部	普通ごみ（月・木曜日地区）
	南部	収集しません
5/4 (火/祝)	北部	埋立ごみ・有害ごみ（第1回目火曜日地区） ペットボトル・紙パック・白色トレイ（第1回目火曜日地区） ※有価物は収集しません。
	南部	普通ごみ（火・金曜日地区）
5/5 (水/祝)	北部	収集しません
	南部	埋立ごみ・有害ごみ（第1回目水曜日地区） ペットボトル・紙パック・白色トレイ（第1回目水曜日地区） ※有価物は収集しません。

◆環境センターへのごみの持ち込みは受け付けていません。

一時多量ごみはごみステーションに出さないで!

- ◆庭木の刈り込み等で、一度に3袋以上出すとき
 - ◆引っ越しに伴う多量ごみ(多量のダンボール箱も含む)
 - ◆個人による家の簡易な改装等で生じたごみ（業者が改装等を行った場合、自己搬入は不可。業者に処分依頼してください。）
 - ◆敷地内の土砂、側溝の泥等で多量に出たとき(町内会で行ったものは自己搬入不可。環境課☎286-3242まで。)
- ※詳しくは、「平成22年度家庭ごみの正しい出し方」をご覧ください。

「平成22年度家庭ごみの正しい出し方」は…

広報ふちゅう3月号と一緒に各世帯に配布しています。また、環境センター、両公民館、福寿館、住民課、府中南交流センター行政サービスコーナー、環境課、くすのきプラザ、ふちゅう情報プラザつばき館（イオンモール広島府中ソレイユ内）でも受け取ることができます。